



ミューザ川崎シンフォニーホール & 東京交響楽団

名曲全集 第207回

*MUZA Kawasaki Symphony Hall & Tokyo Symphony Orchestra
The Masterpiece Classics Series No. 207*

2025年5月17日(土)

Saturday, 17 May, 2025

ミューザ川崎シンフォニーホール

MUZA Kawasaki Symphony Hall

アンケートにご協力をお願いします
<https://gws-net.com/muza/>



音楽をお楽しみ いただくために



皆様にコンサートをお楽しみいただくために、ご協力をお願いいたします。



開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまいください。



時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。



ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが正しく装着されていることをご確認ください。



演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。



許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします（カーテンコール時を除く）。



演奏中に音が出ないように十分ご注意ください（鈴のついたお手荷物・鈴の包みを開ける際の音・プログラムをめくる音など）。



演奏中の会話はお控えください。



演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援をお送りください。



客席内での飲食はご遠慮ください。



館内では咳エチケット・適切な手指消毒を推奨しております。

カーテンコールの撮影について

「名曲全集」シリーズでは、終演後のカーテンコールの撮影が可能です。撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。



※アンコール演奏中は撮影いただけません。

※フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。

※SNSなどに掲載する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

※スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。

ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 第207回

MUZA Kawasaki Symphony Hall & Tokyo Symphony Orchestra
The Masterpiece Classics Series No. 2072025年5月17日(土)14:00開演 Saturday, 17 May, 2025, 14:00
ミュージア川崎シンフォニーホール MUZA Kawasaki Symphony Hall

スメタナ：連作交響詩「我が祖国」 (80')

Bedřich Smetana: Má Vlast

- | | |
|----------------|-----------------------|
| I ヴィシェフラド（高い城） | Vyšehrad |
| II ヴルタヴァ（モルダウ） | Vltava |
| III シャールカ | Šárka |
| IV ボヘミアの森と草原から | Z českých luhů a hájů |
| V ターボル | Tábor |
| VI ブラニーク | Blaník |

※演奏時間は目安です
※休憩はございません

指揮：下野竜也

Tatsuya Shimono, Conductor

管弦楽：東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra, Orchestra

コンサートマスター：小林 堯成

Issey Kobayashi, Concertmaster

本日の公演は「ニコニコ東京交響楽団」（ニコニコ生放送）による無料生配信を行います。

客席内・舞台上に収録カメラが入っております。
なにとぞご了承ください。視聴サイト「ニコニコ東京交響楽団」（会員登録不要）
<https://live.nicovideo.jp/watch/lv347297292>主催：ミュージア川崎シンフォニーホール（川崎市文化財団グループ）
公益財団法人 東京交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動）） | 独立行政法人日本芸術文化振興会



©Shin Yamagishi

指揮 Conductor

下野竜也 Tatsuya Shimono

NHK交響楽団正指揮者、札幌交響楽団首席客演指揮者、広島ウインドオーケストラ音楽監督、広島交響楽団桂冠指揮者。鹿児島生まれ。鹿児島大学教育学部音楽科、桐朋学園大学音楽学部附属指揮教室で学ぶ。1996年キジアーナ音楽院で指揮のディプロマを取得。1997年大阪フィル初代指揮研究員を経て1999年文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーン国立演劇音楽大学に留学。

2000年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

NHK交響楽団をはじめ国内の主要オーケストラの定期演奏会に毎年のように招かれる一方、ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィルハーモニー管、シュツットガルト放送響、ロワール管、シンフォニア・ヴァルソヴィア、サンノゼ響、バルセロナ響などに客演。オペラにおいても新国立劇場、二期会、日生劇場をはじめ注目の公演で指揮を務めている。

読売日本交響楽団初代正指揮者、同首席客演指揮者、京都市交響楽団常任客演指揮者、同常任首席客演指揮者を歴任。出光音楽賞、新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、芸術選奨文部科学大臣賞、MBC賞、東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、南日本文化賞特別賞、有馬賞、広島市民賞、中国文化賞などを受賞。

東京藝術大学音楽学部指揮科客員教授、東京音楽大学吹奏楽アカデミー特任教授、洗足学園音楽大学で後進の指導にもあたる。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

NHK大河ドラマテーマ曲収録（2025年放送開始の最新作「べらぼう」を含む7作品）、NHKFM「吹奏楽のひびき」パーソナリティを務めるなど、放送においても活躍している。

公式ホームページ <https://www.tatsuyashimono.com>

☆ソロ首席奏者 □客演首席奏者 ◎首席奏者
○フォアシュピーラー ●インスペクター *研究員 ◆故人

スメタナ：連作交響詩「我が祖国」

チェコ国民楽派の作曲家ベドジフ・スメタナ（1824～1884）。彼の代表作のひとつが連作交響詩「我が祖国」です。

当時チェコはオーストリアの支配下で、スメタナの母国語はチェコ語ではなくドイツ語という環境でしたが、1848年にプラハで革命運動が起こり、1859年の第2次イタリア独立戦争でのオーストリア敗戦などをきっかけに、チェコで愛国的な気運が高まっていきます。音楽活動の面では、チェコ語のオペラを上演する国民劇場仮劇場の建設が決定。スメタナは1856年からスウェーデンで活動していましたが1861年にチェコに帰国し、1866年に仮劇場の首席指揮者に就任、そしてチェコを題材にしたオペラを発表していきます。しかし病魔に冒されて聴力を失ってしまい、1874年に首席指揮者を辞任。そんな中で作曲されたのが、チェコの伝説、歴史、風景を描く6つの交響詩からなる作品、連作交響詩「我が祖国」です。チェコ建国の伝説を描くオペラ『リブシェ』を完成した1872年頃から構想を始め、1874年に第1曲「ヴィシエフラド（高い城）」、第2曲「ヴルタヴァ（モルダウ）」を書き上げ、第3曲「シャルカ」、第4曲「ボヘミアの森と草原から」を1875年に完成。それから3年後、1878年に再び「我が祖国」に取り組み、フス派のコラールを用いた第5曲「ターボル」、第6曲「ブラニーク」の2曲を作曲して1879年3月に全6作の「我が祖国」が完成しました。同年10月、作品はプラハ市に捧げられました。

連作交響詩「我が祖国」は、プラハの春音楽祭で毎年オープニングで演奏されるなど、チェコを象徴する作品です。チェコの伝説と景色を音でお楽しみください。

【ヴィシエフラド（高い城）】 神々に導かれた場所に建てられた城、そこに王妃リブシェが住み、国を治めたというチェコ建国の伝説。その城が“高い城”を意味するヴィシエフラドで、ヴルタヴァ川沿いの丘にありました（現在は城址公園。スメタナが眠る墓地もあります）。

曲はハープの演奏で始まりますが、これは吟遊詩人が竖琴を弾きながらヴィシエフラドでの出来事を物語る様子を表しています。ハープが奏でるメロディが主題となり、オーケストラ全体でも輝かしく奏でますが、続いて主題の変形が下行していく不穏な音楽になり、戦いを暗示。その後、格調高いファンファーレが登場し、ヴィシエフラドの栄光が描かれてきます。しかしついにはリブシェが予言したとおり戦火に包まれ、城が陥落。その後ハープの主題に戻り、穏やかに終わります。

【ヴルタヴァ（モルダウ）】 チェコの大河、ヴルタヴァ川（ドイツ語では「モルダウ川」）を描きます。フルートが奏でる第1の源流に、クラリネットが奏でる第2の源流が加わったのち、流れるような弦楽器の伴奏とともに有名な主題が登場します。川の流れる村の結婚式に遭遇して踊りの音楽に。そして夜になり、川面が月の光に照らされ、水の精が舞う幻想的な場面となります。その後、急流を経て、川はプラハの町を堂々と流れていきます。最後は川沿いにヴィシエフラドが現れ、「ヴィシエフラド（高い城）」の主題が高らかに演奏されます。

【シャールカ】 リブシェ亡きあと、男たちに権力を奪われたことに怒った女たちが男に復讐するべく戦ったという、チェコの「乙女戦争」の伝説。その乙女のひとり、シャールカを描く曲です。男性への怒りを表す激しい音楽で始まると、王の部下ツチラトたちがやって来る軍楽隊風の音楽に。ツチラトは、大木に縛られた美しいシャールカを見つけます。これは男をおびき寄せるための罠で、シャールカは泣くふりをしてツチラトに助けを求めると（クラリネット）、何も知らないツチラトはそれに応えて（チェロ）縄をほどきます。シャールカに魅せられたツチラトは、彼女に誘われるまま宴で酒を飲み、いびき（ファゴット）をかいて眠ってしまいます。その様子を確認したシャールカは隠れている仲間に合図を出し（ホルン）、ツチラトたちと激しい戦いに。最後はシャールカたちが勝利して曲は終わります。

【ボヘミアの森と草原から】 スメタナによれば「チェコの田舎を見つめたときに湧き上がる感情への印象」を描いた曲。16分音符でオーケストラ全体がうごめくなか、金管楽器がハーモニーを奏で、森と草原が広がる壮大な景色を感じさせる響きで始まります。その後、弱音器をつけた弦楽器がひそやかな音色でフーガ風に展開。鳥がさえずり、ラベ川（ドイツ語でエルベ川）沿いの肥沃な大地を朗々としたメロディで描きます。そして農村の祭りを描く躍動感にみちたボルカを経て、最後は曲冒頭の主題が戻ってきて力強く終わります。

【ターボル】 15世紀、ボヘミアの宗教改革者ヤン・フスが異端者として火刑に処されたことで教会批判が高まり、フス派とカトリックが戦ったフス戦争。19世紀のチェコの人々にとって、フスとフス戦争は民族自立の象徴となりました。「ターボル」とは、プラハの南にある、フス派の急進派によって軍事拠点としてつくられた町の名前。この曲では、フス派のコラール「汝ら神の戦士」を主題として用い、フス派の強固な意志、戦い、忍耐を描き、フス派を讃えます。コラールは複数の部分に分けられ、それぞれを引用・展開して1つの曲が作られています。

低音が響く中、コラール冒頭の音型がホルンによって繰り返し演奏されたのち、オーケストラ全体で厳かにコラールの一部を演奏。木管楽器がコラールの別の部分を穏やかに演奏したのち、急速なテンポのセクションへ。コラールの音型を使った劇的な音楽が展開し、終盤にコラールのメロディ全体が管楽器によって壮大に演奏されます。

【ブラニーク】 ブラニークとはプラハの南東にある山の名前です。この山には聖ヴァーツラフの騎士団が眠り、国が敵に襲われ最大の危機に陥ったとき、彼らは目覚めて戦うという伝説があります。スメタナは聖ヴァーツラフの騎士団をフス派の戦士に置き換え、チェコ民族の象徴として「ブラニーク」の名を題にしました。そして「ターボル」同様、フス派のコラール「汝ら神の戦士」を主題に使っています。曲は、コラール冒頭の音型で力強く開始。コラールが管楽器に登場しながら、フス派の戦士たちが山を登るようなリズムの音楽が進みます。その後、牧歌的な間奏曲を経て、躍動的な音楽に。最後にはコラールのメロディと共に第1曲「ヴィシェフラド（高い城）」の主題が登場し、高らかに終わります。

（榊原律子）

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 2025-2026シーズン

各回 14:00 開演

前期

第208回 6月14日(土)

指揮: ミケーレ・マリ奥特ティ
ヴァイオリン: ティモシー・チューイ

チャイコフスキー: 幻想的序曲「ロメオとジュリエット」
チャイコフスキー: ヴァイオリン協奏曲
プロコフィエフ: バレエ組曲「ロメオとジュリエット」
から抜粋

第209回 7月5日(土)

指揮: ユベール・スダーン (東京交響楽団 桂冠指揮者)
ピアノ: 上原彩子

ベルリオーズ: 序曲「ローマの謝肉祭」
ラヴェル: ピアノ協奏曲 ト長調
ビゼー: 「アルルの女」第1組曲、第2組曲

第210回 9月6日(土)

指揮: 沼尻竜典
チェロ: 上野通明

ドヴォルザーク: チェロ協奏曲
ドヴォルザーク: 交響曲 第9番「新世界より」

後期

第211回 10月12日(日)

指揮: スザンナ・マルツキ

ベートーヴェン: 交響曲 第6番「田園」
ストラヴィンスキー: バレエ音楽「春の祭典」

後期

第212回 11月23日(日・祝)

指揮: ジョナサン・ノット (東京交響楽団 音楽監督)
笙: 宮田まゆみ

武満 徹: セレモニアル マーラー: 交響曲 第9番

第213回 12月6日(土)

指揮: 下野竜也 ※当初発表から変更になりました
ソプラノ: 三宅理恵 メゾ・ソプラノ: 花房英里子
テノール: 山本耕平 バス: 妻屋秀和
合唱: 東響コーラス

ワーグナー: 楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」
第1幕への前奏曲
ベートーヴェン: 交響曲 第9番「合唱付き」

第214回 2026年1月17日(土)

指揮: 大植英次 ピアノ: 清水和音

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」
ベートーヴェン: 交響曲 第7番

第215回 2026年2月1日(日)

指揮: 川瀬賢太郎 ピアノ: 牛田智大

モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲
モーツァルト: ピアノ協奏曲 第26番「戴冠式」
メンデルスゾーン: 交響曲 第4番「イタリア」

	S席	A席	B席	C席	ミューザ友の会・ 東響会員先行発売	ミューザWeb& TOKYO SYMPHONY オンラインチケット 先行販売	一般発売
後期セット券[5公演] (第211回~第215回)	27,600円	23,600円	18,000円	14,000円	6/3(火)	6/5(木)	6/10(火)
1回券 (第212・213回)	7,500円	6,500円	4,500円	3,500円	前期1回券、好評発売中! 後期1回券は、後期セット券と同時発売 *ミューザ友の会・東響会員は10%割引 *席種によって予定枚数 終了の場合がございます。最新の残席状況はお問合ください。		
1回券 (第208~211・214・215回)	6,500円	5,500円	4,500円	3,500円			

25歳以下当日券
(学生に限らず25歳以下の方) 1,000円 (要問合せ)

*セット券のミューザ友の会・東響会員料金はありません。
*セット券の取り扱い、はミューザ川崎・TOKYO SYMPHONYチケットセンターのみ。
*後期セット券は9月21日(日)までの販売です(販売終了当日はミューザ窓口直接購入のみ)。

お問合せ・お申込み

*ミューザ友の会会員の先行予約・割引販売は図にて受付。*ミューザ友の会先行発売初日は電話予約とWebのみ受付。
最新の開催情報は公式サイトでご確認ください。https://www.kawasaki-sym-hall.jp/

■ミューザ川崎シンフォニーホール

図 電話予約 044-520-0200(10:00~18:00)
図 4階チケットカウンター 10:00~19:00
図 ミューザWebチケット https://muza.pia.jp/
(登録無料・24時間受付 *火・水 2:30~5:30を除く) 発売初日は10:00~

■TOKYO SYMPHONY チケットセンター

044-520-1511(平日10:00~18:00/土日祝休み)
TOKYO SYMPHONY オンラインチケット
https://tokyosymphony.jp(1回券のみ) 発売初日は10:00~
*東響会員の先行予約・割引販売を受け付けます。



地域の健康と安心を奏でます



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

住所：神奈川県川崎市幸区大宮町31番27

URL：<http://www.saiwaihp.jp/>

TEL：044-544-4611（代）

2025シーズン 会員募集集中

川崎フロンターレ公式ファンクラブ(後援会)

レギュラー
会員

ファミリー
会員

選べる!
入会特典

2025シーズンの
更新をされた
ジュニア会員

※デザインは
変更になる
可能性があります

3
Way



手提
肩掛け
キャリーオン

**3way
オリジナルバッグ**

2025シーズン川崎フロンターレ
公式ファンクラブに
入会・更新された方にプレゼント!

ペンケース



2025シーズンより
新規入会された
ジュニア会員

**オリジナル
リュック**



マイページ限定 「アズーロ・ネロ」で使える **500円グッズクーポン**

新規入会に
かかる費用

入会手数料
500円

+

レギュラー会員
年費 **3,500円**
登録人数: 1名
入会資格: 高校生以上

ファミリー会員
年費 **7,000円**
登録人数: 計2~4名
入会資格: 全員が同一住所に居住

ジュニア会員
年費 **1,000円**
登録人数: 1名
入会資格: 小・中学生(未就学児も可)

シーズン中も追加特典があるかも?

会員特典一覧

後援会マイページ 随時更新 を要チェック!

会員特典	レギュラー会員	ファミリー会員	ジュニア会員
① マイフロンターレブック	1冊	1冊	1冊
② 会報誌「デルフィーノ」(年6回) (マイページで閲覧可)	デジタル会報誌 or 郵送	デジタル会報誌 or 郵送 *1	デジタル 会報誌
③ 「新規入会特典」会員証(ICカード)	● *2	● *2	● *2
④ 「継続特典」記念ピンバッジ進呈!	●	●	●
⑤ チケット先行販売割引販売 *3	2025シーズンの入会して10年目の 継続、20年目の継続となる会員	2025シーズン入会して 10年目の継続となる会員	2025シーズン入会して 10年目の継続となる会員
⑥ ホームゲームイベント参加権 *5	●	●	●
⑦ 試合以外でも楽しめる会員限定イベント	●	●	●

会員特典	レギュラー会員	ファミリー会員	ジュニア会員
⑧ ジュニア会員限定!ホームゲーム自由小中招待券プレゼント	—	—	1試合分
⑨ 小中学生指定ホームゲーム毎試合配布選手Tシャツプレゼント	—	—	▲ *6
⑩ 選べるグッズ特典 (マイページで閲覧可)	3wayオリジナルバッグ 3wayオリジナルリュック 500円クーポン 500円×2枚	3wayオリジナルバッグ 3wayオリジナルリュック 500円クーポン 500円×4枚	ペンケース オリジナルグッズ 500円×1枚
⑪ 「アズーロ・ネロ」グッズ購入5%OFF!	●	●	—
⑫ グッズ先行販売	●	●	●
⑬ 豪華!会員限定ギフト企画 (2025シーズン限定企画)	●	●	●
⑭ パートナーコラボ企画 (商品別)※1と※2が対象	●	●	●
⑮ サポートショップで優待あります!	●	●	●
⑯ 早期入会特典 (終了しました)	●	●	●

※1: デジタル会報誌は代表者のみご覧いただけます。 ※2: 新規のみ。 ※3: 入場人数制限に応じて、購入上限枚数が変動する可能性があります。 ※4: チケットは代表者のみご購入いただけます。 ※5: 入場人数制限に際して、内容が変動する可能性があります。 ※6: 小中学生以下のファミリー会員の対象となります。 ※7: アズーロ・ネロは2024年から継続してジュニア会員にのみの特典となります。新規入会のジュニア会員の方への特典はオリジナルリュックとなり、試合会場が後援会事務所にてお渡し、もしくは有料発送となります。

KAWASAKI
Frontale

お問い合わせ

川崎フロンターレ後援会事務局

GO

03

5026

info@bluefriends.jp

ミュージア川崎シンフォニーホールの公演事業は
ホールスポンサーの皆様によって支えられています

(敬称略・50音順)

・法人・

● 特別賛助会員

川崎幸病院	キャノン株式会社	三井不動産グループ
川崎信用金庫	サントリーホールディングス株式会社	
川崎フロンターレ	ジェクト株式会社	

● 賛助会員

税理士法人あおぞら会計	川崎日航ホテル	株式会社東芝
株式会社イープラス	かわさきファズ株式会社	日本冶金工業株式会社 川崎製造所
ENEOS株式会社	川崎臨港倉庫埠頭株式会社	びあ株式会社
有限会社エムシーエス・デザインズ	ケイジーケイ株式会社	ホテルメトロポリタン 川崎
神奈川臨海鉄道株式会社	公益財団法人JFE21世紀財団	ヤマハサウンドシステム株式会社
川崎アゼリア株式会社	株式会社シグマコミュニケーションズ	株式会社ワイイーシーソリューションズ
公益社団法人川崎市医師会	セレサ川崎農業協同組合	*
川崎市信用保証協会	大本山川崎大師平間寺	大宮町町内会
公益社団法人川崎市病院協会	高橋昌也税理士・FP事務所	他2法人
一般社団法人川崎市薬剤師会	株式会社デイ・シイ	
川崎鶴見臨港バス株式会社	東亜石油株式会社	

● わくわくミュージア 法人サポーター

味の素株式会社 川崎事業所	川崎フロンターレ
---------------	----------

・個人・

阿部孝夫	岡垣克則	国府保周	高井延幸	廣瀬治昇	M.C
新井智彦	小笠原 将	後藤 実	高橋美子	藤嶋とみ子	N.A
市橋信一郎	岡田 元	小林知子	竹内啓介	堀江智巳	T.Y
井上敏昭	岡野 功	佐伯 昇	都築 豊	前田 泉	
宇佐美清一	金山直樹	佐藤晴茂	中村紀美子	松嶋邦生	
遠藤智和	喜多紘一	佐野義寛	西 洋子	山内利夫	他匿名16名
大越麻美子	木伏源太	杉山弘子	西山英昭	山下啓史	
大須賀徳也	久住映子	鈴木甚郎	長谷川喜代江	山田昌克	
大塚具幸	小菅みつほ	鈴木 徹	林 直人	D.Y	

(2025年4月20日現在)

|| ご支援のお願い ||

ミュージア川崎シンフォニーホールは川崎はもとより、世界における音楽文化の発展に尽力してまいります。
芸術にご理解の深い法人、個人の皆様にご支援をお願いしております。
多くの皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。
詳しくはスポンサー担当 (TEL 044-520-0100) までお問合せください。

